

HEART NEWS

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>

Vol. 33



Heart Rhythm(米国不整脈学会)に不整脈専門チームのメンバーが参加した際に立ち寄ったフェンウェイ・パークの写真です。ポストン・レッドソックスの本拠地として有名です。メジャーリーグで使用されている球場の中では最も古い球場だそうです。

本年は、例年になく予想を超える豪雨が各地で頻発し、想定外といった言葉は最早通じない異常気象となっています。皆さまお元気でお過ごしでしょうか？今年も残り4ヶ月となりました。これからいよいよ、循環器疾患のシーズン到来です。

今回は、循環器内科からは、当科で、本年2月から開始しました「ヒス束ペーシング」について、心臓血管外科からは、本年4月に開設しました「大動脈センター」について掲載します。また循環器内科では、本年8月から「PAD 末梢動脈外来」を開設しましたので、ご紹介頂きたいと思います。

今後も循環器内科、心臓血管外科一丸となって皆様のご要望に迅速・確実に応えられるよう取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) もリニューアルしていますので是非閲覧ください。

大阪市立総合医療センター

循環器センター長

循環器内科部長

成子 隆彦

ヒス束ペーシングを開始しました！

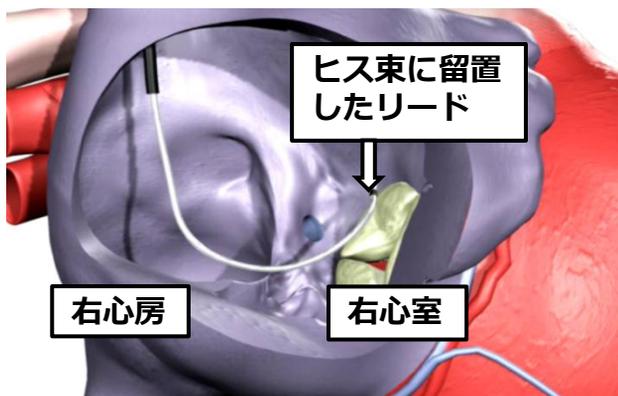
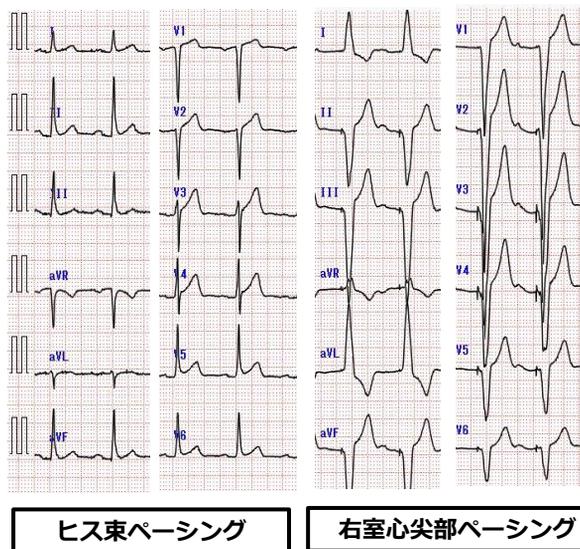
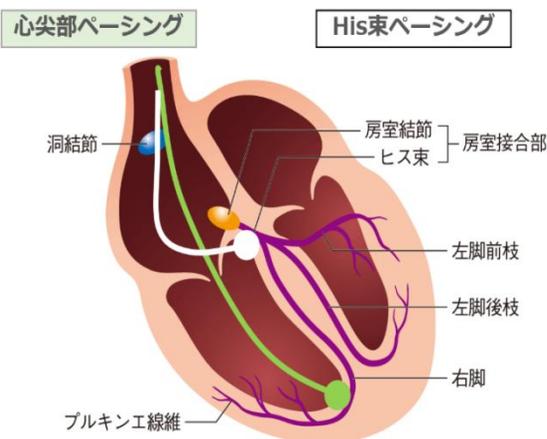
循環器内科 林 雄介

従来から、ペースメーカーのリードの留置部位は右室心尖部が主流でした。しかし、右室心尖部ペーシングを行った患者さんの2~3割程度が、将来的に心機能低下を来すと言われていています。非生理的なペーシングにより、QRS幅は広くなり、心室の興奮時間が延長することが原因と考えられています。

そこで、刺激伝導系の一部であるヒス束にリードを留置しペーシングすることで、右室心尖部ペーシングに比べて、より狭いQRS幅を得ることができ、ペーシングによる心機能低下を予防することが期待されています。実際に、海外の施設からも良好な成績が数多く報告されてきています。

当院でも2018年2月より実施が可能となり、今まで21名にヒス束ペーシングを行いました。ヒス束ペーシングで形成されるQRSは、あたかも正常のQRS波形かと見間違ふほどnarrowです。

房室ブロックなど、心室ペーシング率が高い患者さんが、ヒス束ペーシングの恩恵を大きく受けることとなりますが、洞不全症候群などの他の徐脈性不整脈の患者さんにも積極的にヒス束ペーシングを行っています。ペーシングによる心機能低下で困る患者さんを一人でも減らすために、より良い植込みを心がけています。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川	成子
	占野(ペースメーカー)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)		松本(TAVI)

火曜日午後に、PAD 末梢動脈外来を開設しました。

大動脈センター開設のお知らせ

心臓血管外科 尾藤 康行

1. ごあいさつ

当院では急性大動脈解離、大動脈瘤破裂など急性大動脈疾患の救急患者さんを積極的に受け入れており、その数は年々増加傾向にあります。心臓血管外科では循環器内科、救命救急センターと連携して迅速に手術を執り行うことで救命に努めてまいりました。本年4月からは「大動脈センター」の呼称を掲げさせていただくこととなり、今後もこのような取り組みを続け、地域の基幹病院としての役割をより一層果たすべく活動を続けてまいりたいと考えております。

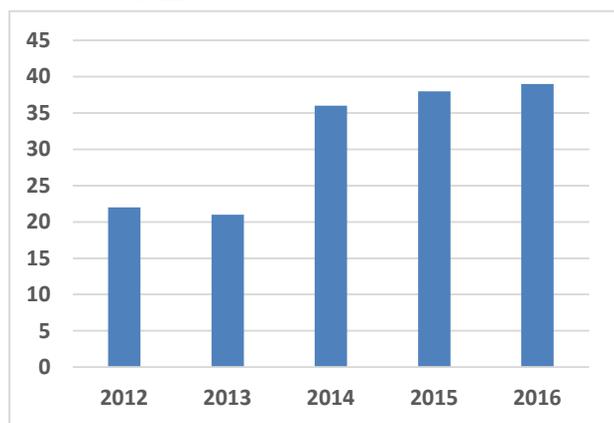
2. 大動脈治療における手術方法の多様化と理想的な診療体制

当院では急性大動脈疾患の救命と治療の実現に理想的な以下のような諸条件を整えております。

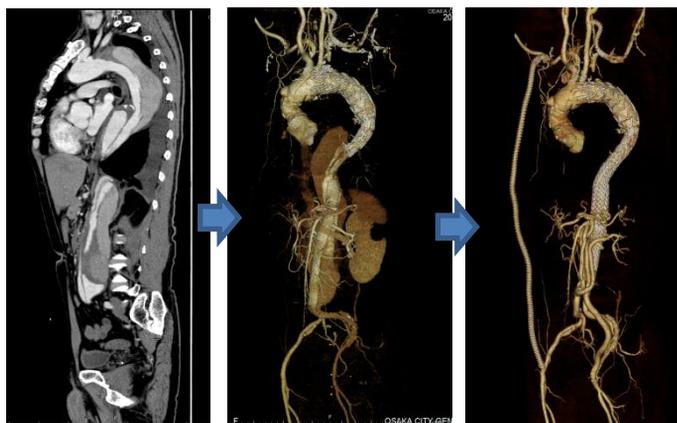
- ① ハイブリッド手術室を有し、随時稼働可能である。
- ② 開胸開腹人工血管置換術とステントグラフト治療の双方の手技に精通し、即時施行できる医師が常勤している。
- ③ 術後の集中治療に専任できる医療体制が整備され、多臓器の合併症に対してもそれぞれの専門科を介した集学的治療が可能である。

大動脈治療のあり方は企業製大動脈ステントグラフトをはじめとした、様々な新しい医療デバイスの登場によって激変し、既存の治療概念の変革と現代的な治療の実践が求められる状況となっています。「大動脈センター」では現代的な急性大動脈疾患に対する医療を実践するため、心臓血管外科を中心とした協力体制のもと、個々の患者さんに応じた最適な治療方法を救急の現場で迅速に選択し実行しています。これからも地域医療への貢献を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

急性大動脈疾患受け入れ数



ハイブリッド手術による大動脈解離の治療



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤
午後	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平日 8:45~20:00

今号の循環器日記

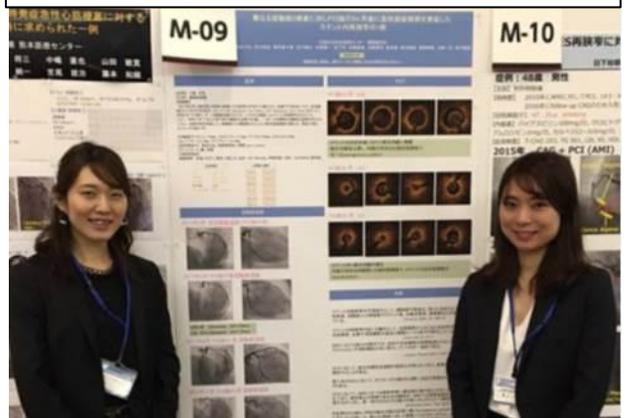
我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

今回も、最近の学会や研究会で撮影した写真を掲載させていただきました。

Heart Rhythm (5月 ポストン)



豊橋ライブデモンストレーションコース (6月 豊橋)



日本循環器学会地方会 (6月 大阪)



先進循環器フォーラム (7月 大阪)



第20回心臓病懇話会

『高齢者の循環器治療』

平成30年10月20日(土) 午後3時 当院さくらホール

超高齢化時代突入に際して上記のようなテーマを企画いたしました。
多くの先生方のご参加をお待ちしております。

当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話(ハートライン)を設置しております。

ハートライン(循環器センター直通電話)

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221(病院代表)から呼び出して下さい。